



あなたと結ぶ 議会情報誌

12月

定例議会

平成28年1月26日 発行

No. 151

# 最上町 議会だより



昔ながらのお手玉遊び  
(大堀保育所 正月行事)

新年を語る...2  
12月定例議会...3  
議案審議...4~5  
一般質問 ...6~9  
所管事務調査中間報告...10  
請願・教えて議会!?・議会傍聴...11  
議会の動き・編集後記...12

12月  
定例会  
8日~10日

# 平成 27 年度の一般会計・特別会計 追加補正予算可決

補正額 1 億 381 万円 総額 99 億 8168 万円

一般会計(収入) (単位:万円)		
項目	補正額	合計額
地方交付税	5072	
負担金	24	
使用料	5	
国庫負担金	479	
国庫補助金	19	
県負担金	228	
県補助金	166	
財産運用収入	80	
財産売払収入	55	
寄付金	1500	
雑入	1932	
町債	1260	
計(補正額)	6876	
補正後予算額		66 億 2363
特別会計 (単位:万円)		
項目	補正額	合計額
国民健康保険	5846	14 億 0824
後期高齢者医療	14	9647
介護保険	80	12 億 8104
最上病院(資本収入)	3917	3625
介護老人保健施設	970	3 億 3071
水道(資本収入)	0	1191
簡易水道	520	1 億 7573
瀬見温泉	8	1770
計	3505	33 億 5805
<b>総合計</b>	<b>1 億 0381</b>	<b>99 億 8168</b>

千円単位は四捨五入

12月定例会は、12月8日から10日までの3日間の日程で行われました。上程された議案は、条例の設定1件、条例の制定2件、平成27年度最上町一般会計補正予算を含む各特別会計補正予算9件の全12議案を審査いたしました。いずれの議案も原案どおり承認されました。また、一般質問には4名が登壇し町政を質しました。

# 謹賀新年

## 議会一丸！今年の決意を語る



菅 俊郎 議長

新年明けましておめでとうございます。本年も我が町、町民の皆様にとりましても、心やすらぐ穏やかな一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

又、昨年8月9日に投票された町議会選挙におきましては、町民の皆様から多くの御示唆を頂きましたこと、有難く心から感謝申し上げます。新人議員2名を含め、議会一丸となつて頂いた付託にお応えするため、これまで以上の精進・努力をして参りたいとの思いで改めて決意をしている所であります。



進路達成祈願餅つき大会(最上中3年C組のみなさん)

さて、私たちは今日の国全体の社会状況、即ち戦後一貫して右肩上がりの成長を続けて来た状況が一変し、急激な右肩下がりの社会状況を程している現実を直視し、日々の暮らしを支えている絶対条件が以前とは一変し、且つ町づくりの前提条件も根底から異なっているとの自覚を全町民で共有することが、今、重要不可

欠のことと考えます。同時に、今後の町づくりにとつて欠かす事の出来ない重要なことであるとも思います。この先の町づくりの道は、これは決して平易なものとは思われませんが、皆様と一緒に未来に向かって、一つ一つの努力を積み重ねて参ります。引き続き御指導、御支援宜しくお願い申し上げます。

### これまでの補正予算と臨時議会

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>9月定例会最終日(9月18日)に追加補正一般会計補正(第7号)<br/>豪雨災害関連補正 5270万円</li> <li>10月臨時会<br/>一般会計補正(第8号)<br/>エネルギーインフラ構想策定業務委託関連 550万円</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>11月26日臨時議会<br/>一般会計補正予算(第9号) 専決承認<br/>赤倉温泉スキー場電源ケーブル補修工事 640万円</li> <li>一般会計補正予算(第10号)<br/>公共土木施設災害復旧事業ほか 6197万円</li> </ul> |
|---|--|

当選回数順に掲載	議員	副議長	議長
宮本 浩	尾形 勝雄	二戸 守	大沼 正視
渡邊 英俊	橋本 正	佐澤 浩	石原 英一
菅 征悦	伊藤 一雄	佐藤 義男	菅 俊郎

本年もよろしく  
お願いたします



# 議案審議

— 主な質疑の中から抜粋 —

■ 個人番号（マイナンバー）の利用、個人情報に関する条例の設定について

Q 個人番号カードは何に使えるのか。

A 住民基本台帳カードと同様、本人確認のための身分証明書として使用できます。

Q 個人番号カードの有効期限はありますか。

A 有効期限は20歳以上は10年、20歳未満は5年となっています。

Q 個人番号からの情報漏洩は。

A 個人番号カードのICチップには、税や年金の情報などプライバシー性

の高い個人情報記録されることはありません。



モデル住宅工事風景

■ 町税条例の一部改正について

Q なぜ分割納付の条例なのか、今までは条例がなかったのか。

A 分割納入のほか担保も含めた条例であつて、町民税の納付率では県内の中でもトップであり、納税組合の努力もあり感謝している所です。

■ 介護老人保健施設及び認知症対応型共同生活介護事業所の一部を改正する条例の制定について

Q 指定管理をすることにより今までの違いは。

A 施設の利用等について報を共有して問題を解決しながら整備に取り組んでいます。

## 土木費

Q 地域一斉除排雪推進事業補助金とは。

A 各集落で道路が狭く、雪のやり場に苦慮している区域を全体で除排雪の時に機械の借り上げ料など、地域の取り組みに補助するものです。

Q 流雪溝利用適正化事業補助金とは。

A 流雪溝が供用開始されている地区で組織を立ち上げている集落の運営や小規模修繕に補助するものです。昨年度は3集落が対象になりました。

Q 白川端地区での雪対策協議での進捗状況は。

A 大堀地区（西地区）流雪溝整備促進協議会を立ち上げて、各集落の情

ては大きく変わることはありませんが、ウエルネスタウン構想の理念に基づき、町の保健福祉と医療の考え方を十分に理解した業者を選定していきたいと考えております。



健康福祉まつり

## 補正予算

### 総務費

Q 木質バイオマスの原料である木質チップの需要と供給は大丈夫なのか。

A ウエルネスプラザで年間2千トン、新しく建設しているガス発電施設で1万3千トンの木質チップが必要になり工場を拡大し国有林も使用しながら植樹に力を入れて山を荒らすのではなく守りながら進めていきます。

Q ふるさとみ応援寄付金、メッセージの返しと町出身者の割合は？

A 現在2万4千件で3億1千万円のご寄付が見込まれ、町の出身者は1%程度だと思えます。メッセージに関しては、年賀のお返しを検討しています。

## 介護保険事業会計

Q 居宅介護サービス給付費の減額と高額介護サービス給付費の増額の内訳は。

A 介護予防ケアプランについて、従来は介護が

必要になってから給付費の申請が多くありましたが、最近はや支援1、2の段階で相談を受けてサービスを受け、重度化を防ぐ効果もあります。

## 病院事業会計

Q 病院の屋根瓦の一部が落ちて、むき出しになっている箇所がありますが？

A 検査室の屋根の部分になります。雨漏りをしていない箇所もあるので、調査しながら雪がなくなり次第対応していきます。

## 教育費

Q 平成29年に行われる全国中学校スキー大会の進め方について。

A 今年度は北海道で行われるので、大会視察、大会に向けた審判の資格を取るための補正です。

## 民生費

Q 集落の公民館、ポンプ小屋等にAED器の設置を考えてみては。

A 講習会を含め、区長会等で話し検討して行きたい。

## 農林費

Q ニラ、ネギ、アスパラ等の売上げが伸びているなか、労働者が足りない現状です。そこで外国人労働者の受け入れの考えは。

A 県、JAなどの関係機関とも話し合い、今後の検討課題として、十分考慮して参ります。

## 商工費

Q 雇用創出奨励金34万円の今年度の実績は？

A 今年度、5社6名の雇用創出に対しての奨励



赤倉温泉スキー場開き

# 「健全で心豊かな小さな自治」を、どう築かれるのか



佐澤 浩 議員

**町長答弁** しっかりした行政経営に取り組んでまいります

**問** 人口減少を踏まえ、後世に夢と誇りをもてる町づくりとして、どのような段階を踏みながら「健全で心豊かな小さな自治」を築いていかれるのかを伺います。

**答弁** 小さな自治とは、人口や面積や財政力という面だけでなく、健全で心豊かな住民生活を確保・維持するために、地方自治体としての今後の方向性を示すものであり、行政機能や行政サービスのみの肥大化してはならない、という意味を含むものと考えています。

おります。言い換えるならば、住民全体の町づくりを基本とするなかで、これを支え、ある時は先導的な役割を担うべき行政との良好なる協働関係があつてこそ、健全で心豊かな小さな自治が実現するものと思っております。

これからのまちづくりにむけた行政としての基本的な考えや進め方などについての説明責任をきちんと果たしながら、住民の皆さんとしっかりと話し合い、また議員の皆さんと意見を交わしながら、一つひとつ議論を積み重ねていく必要があると考えております。町としての具体的な方向性につきましては、まだまだ内部での議論が必要ですが、一つは行政区のあり



向町全景

方を大きな論点としなければなりません。人口減少社会に対応した今後の住民自治機能について論じるには、行政区の必要性や規模などについて、行政としての一定の見解を示さなければならぬと考えております。

限られた財源のなかで、

公共施設や道路や橋梁などの社会インフラをどう整理し、維持していくべきか、自治・協働の町づくりに向けて行政サービスの創出し整理し継続していくべきかなど、課題は山積しておりますが、健全で心豊かな小さな自治を目標に、しっかりと行政経営に取り組んでまいります。当町に「食と体験と歴史の魅力」を組み合わせる宿泊滞在につながるプランを打ち出してまいります。

「仙台圏もがみ友の会」への若い世代への呼び掛けにも力を注いでまいります。



# 町政を問う

4 議員が一般質問

一般質問は、行政全般にわたる議員主導による政策議論であり、大所高所からの政策を建設的立場で議論し、効率的な会議運営が必要なことを十分理解し簡明で、しかも内容のある質問を展開するものです。

## 西公園運動施設の今後について

**町長答弁** 今後の在り方、安全対策などに関しニーズ調査、地域への説明も果たしながら取り組んで行く



宮本 浩 議員

**問** 西公園運動施設ですが、「現状維持の延命化」のよう感じています。利用者の利便性や安全性は第一ですが、それと同時に大事なのは利用する人が「今なにを求めているのか?」「これから、なにをするべきなのか?」ということではないでしょうか?

**答弁** 一年中利用できる温水プールや天然芝の多目的運動場などの施設を備えており、これまで時代のニーズに対応し、体育施設全体を活用した総合型スポーツクラブも

設置しました。これからも創意工夫を凝らし指定管理者と連携しながら努力してまいります。

**問** これからは西公園に訪れたい必要があると思いますか?

**答弁** 西公園は健康づくりのエリア、「生涯現役で頑張れる健康づくり」をコンセプトに最上地域全体で健康づくりポイントカードを共有し、ポイントが貯まれば地産地消の美味しいアスパラや最上牛、温泉施設の宿泊券などの特典付きの健康づくりを町内外に発信していきたい。

**問** 移住定住に関して、魅力的な支援策も発信次第で効果は半減してしまうと思いませんか?

**答弁** 町で作成した移住定住支援ガイドのように文字をメインにしたものは、手に取ってもらえないと感じました。子供達の笑顔の写真や四季折々の自然を写した動画までもっていき、行政だけでなく民間の力も借りながら、文字情報だけでなく画で見ると発信に取り組んでいきます。

**問** 移住者を受け入れるためには、雇用の確保です。就農や起業をしたい人への支援もそうですが、たとえば、お酒を造る人や漫画家や動物病院の医者などの新しい産



高齢者サッカー大会

業や雇用の創出につながる移住者を募集するというのは?

**答弁** 住宅支援や就業支援などの6つのメニューでサポートしていきます。1点だけの政策提案だけでなく、安心して子供を育てられる環境や医療福祉の充実などをトータル支援プランとして取り組んでいきます。

# 東の玄関口( 堺田 )の観光について



尾形 勝雄 議員

## 町長答弁 分水嶺にトイレ設置を検討

**問** 堺田地区には、「分水嶺」と「封人の家」と「産直施設」等も観光として連携してきていると思いますが、観光には町として常に観光客が何を求めているか、周辺への気配りと思いやりが必要だと思えますがいかがですか？

**答弁** 堺田地区自治会の皆さんが「おもてなし」で定期的に分水嶺散策路の草刈りや水路の整備を行っており、周辺の環境整備に尽力して

**問** 堺田には全国でも珍しい平地にある「分水嶺」がありますが、国道47号から町道(堺田駅前線)に入るときの不便さが指摘されており、観光バスが入りやすく町道を拡幅の考えをお伺いします。

**答弁** 分水嶺に向かう町の国道入り口、協議が必要であり、以前から歩道新設の件も併せ

**問** 分水嶺を目的に観光客が、駐車場まで来たときに近くにトイレが無いので周辺の土地に迷惑をかけていると聞いていますので、ぜひトイレの設置について考えをお伺いします。

**答弁** トイレの設置については、地域のご理解とご協力をいただき、封人の家駐車場に隣接された堺田集会場のト



分水嶺(堺田地区)

# 地方創生の今、徹底した人口減少対策に向かうべき

## 町長答弁 地方創生で人口減少対策を最重要課題に



二戸 守 議員

**問** 地方交付税が年間1人当たり約25万円以上が町に入り、人口減少対策を考へても事業としても成り立つし、徹底した切れ目のない施策をすべきと考えます。

**答弁** 子育て支援の更なる充実を。総合戦略にある「婚活、出産、子育て支援の充実」、中学校までの医療費の無償化や保育時間の延長、保育料の無償化などを実施しており、今後は未満児の入園希望も増えていること

から、その充実、「若者定住環境モデルタウン」における子育て世帯の入居者への助成事業も展開し子育て支援を推進したい。

**問** 若者向け住宅、格安への支援をし、分譲地を確保し最終的に持ち家で定住する流れのある事業展開を。

**答弁** 「若者定住環境モデルタウン」は定住促進施策の中核を成しており、今後モデルタウンに限らずに町内に拡大すべき施策である。分譲地の確保においては公

共施設等総合管理計画において遊休資産の有効活用は強く求められています。モデルタウンで展開する木質バイオマスボイラーによる地域熱供給と定住促進施策と一体化するものでなく地域地域に



正月行事 だんごさし(大堀保育所)

において適切に判断します。

**問** 見て分かりやすいPR方法で町内に「子育て支援」を発信すべきで、下條村、出雲崎町の研修で10年以上徹底した人口減少対策をしても維持するのがやっとだそう、町も積極的な早めの対策が必要でないか。

**答弁** 来年度から受け入れを目指す「若

者定住環境モデルタウン」におけるPRを始め、「子育て王国」を目指し展開する若者世代に対する支援の数々も自信を持って発信できるものと考えます。町民の皆さんが最上町に自信と誇りを持ち、おもてなしの気持ちを町全体が共有し地方創生を現実のものにし、若者を温かく支援しながら町の重要課題として対策をして参ります。

て今後も引き続き拡幅の実施に向けてお願いをして参ります。

**問** 分水嶺を目的に観光客が、駐車場まで来たときに近くにトイレが無いので周辺の土地に迷惑をかけていると聞いていますので、ぜひトイレの設置について考えをお伺いします。

**答弁** トイレの設置については、地域のご理解とご協力をいただき、封人の家駐車場に隣接された堺田集会場のト

イレを観光客用として開放していますが、不便をかけている場面が多々あると思いますので、堺田地域の皆さんとの話し合いを重ねながら設置する方向で進めて参ります。

【陳情・請願、意見書提出】

項目	提出者	付託常任委員会	結果
請願 第27-5号 TPP交渉大筋合意は撤回し、調印批准しないことを求める請願	農民運動山形県連合会 会長 花鳥賊義廣 最北地方農民連 会長 二戸 正	産業厚生常任委員会 紹介議員 渡邊 英俊	継続審査



教えて議会!?

議会のしくみ、用語を分かりやすく解説!!



■ 議員の役割とは?

行政の提案・執行が本当に町民のためになっているのかをチェックしたり、町民の代表として意見を提案することが議員の主な役割です。定例会は年4回(3月・6月・9月・12月)その他に、必要がある時に開催される臨時議会があります。平成27年(1月~12月)まで7回開催されています。



議会傍聴 瀬見サロン

議会を傍聴して

瀬見 松田 幸雄さん

50年振りで町議会を傍聴しました。以前に比べると議員席や職員席の配置はあまり変わりありませんが、照明や音声の質が驚く程進化したことに感心しました。議員各位も町政革新発展のため大いに御活躍をお願いしたいと思います。

議会があればこれを機会に、度々議会傍聴に来て町政全般について関心を高め、高齢者の立場から積極的に進言したいと存じます。

中学生  
こども議会



『最上町こども議会』は、最上中3年生の皆さんにより10月27日に行われました。一般質問には2人1組で行われるスタイルであり、多岐にわたる内容の濃い活発な意見・提言が出されました。最後に町長が挨拶に立ち、皆さんの質問がどう町に反映されるのか見届けて欲しいと挨拶。こども議会を代表して森大樹さん(3年・瀬見)が、これからの最上町を担っていくのは私たちの世代ですと力強く挨拶され、終了致しました。



所管事務調査(中間報告)

○総務文教常任委員会

11月17日(火)から19日(木)までの3日間、長野県下條村及び新潟県出雲崎町に「地方創生の流れの中で、人口減少対策を」の研修をし、国の最重要課題であり結婚から雇用、定住まで切れ目のない施策の先進地として下條村には6年越しの視察調査が叶い、受け入れ団体数500組目ということでもマスコミも同席での視察、研修となりました。

下條村は出生率、移住率が全国でもトップクラスの数値です。このことから伺われるように若者定住住居対策が手厚く支援されておりました。



新潟県出雲崎町では、子育て支援・若者定住としての集合住宅3階建てオール電化でエレベーター付き、集会場付きで4万5千円の家賃、そこから子ども1人あたり1万円を差し引いて、最低1万5千円で入居できる仕組みでした。

二つの町村とも他の事業に繋がっていくものであり、切れ目のない施策を打ち出しておりました。徹底した人口減少対策をしても人口を維持するのがやっとだという状況だそうで、今後も調査を行います。

○産業厚生常任委員会

町にとって喫緊の課題である農業生産額50億円達成、若者の定住促進、農業を中心とした6次産業化、雇用機会の拡大など、安心して住み続けられる魅力ある町づくりを推進するためには、地域資源を活かした産業振興が必要であることから、先進事例を学び調査するために、11月9日(月)~11日(水)までの3日間、先進地を訪問し調査研修をしました。今後もさらに調査を行い報告するものです。



○長野県上高井郡小布施町役場産業振興課様  
観光を中心とした町おこし  
(小布施ブランドの構築)

○新潟県十日町市中屋敷株式会社千手様  
地域資源とエネルギーの取り組み  
(米づくりを専門とする生産農家の会社)

# 議 会 の 動 き



最上地方町村議会議員研修会 (H27.10.16)



区長と語る会 (H27.11.26)



大堀かぐら (H28.1.3)

## 【月毎の主な日程】 10月～12月の活動日数 49日 誌面の都合上、主な行事より抜粋し掲載

〔10月〕	
2日	議会広報編集委員会 産業厚生常任委員会
2日	最上・舟形・大蔵三町村議会議員研修会(最上町当番)
6日	関東・東北豪雨災害対策 県知事訪問
7日	町村監査委員全国研修会
8日	議会広報編集委員会 石巻新庄道路同盟会中央要望
9日	町消防委員会 沖縄中部広域議会議員来域に伴う意見交換会
13日	議会運営委員会 全員協議会 10月臨時会 加藤鮎子代議士豪雨災害地視察
15日	広域議会 全員協議会 宮城県美里町との災害協定調印式
19日	町村議会議員研修会
20日	町村議会広報全国研修会(21日まで)
22日	広域議会 10月定例会
26日	地区監査委員協議会臨時会議
27日	こども議会(最上中学校生徒)
29日	議会広報編集委員会
30日	産業厚生常任委員会
〔11月〕	
1日	最上町芸術文化団体協議会設立40周年記念式典
3日	町定例表彰式・町民フォーラム
5日	総務文教常任委員会
9日	産業厚生常任委員会所管事務調査視察(11日まで)
10日	石巻新庄道路同盟会県・山形河川国道事務所要望
11日	第59回町村議会議長全国大会
16日	最上の地域医療を考える住民のつどい
17日	総務文教常任委員会所管事務調査視察(19日まで)
20日	雪対策関係機関連絡会議
21日	最上地域ふるさと連合会総会
26日	議会運営委員会 11月臨時会 町議会議員と区長の語る会
27日	最上校運営懇談会
〔12月〕	
1日	議会運営委員会 全員協議会(8日)
8～10日	12月定例会
10日	議会改革に向けた懇談会

## 次回の定例会は3月です

インターネット配信中(町ホームページから)

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362



### 編集後記

新年あけましておめでとう  
ございます。

昨年は自然災害(9月に東・東北豪雨)は、町内に大きな被害がありました。共助のボランティア活動も行われました。

最近さらに議会に対する関心が高まっています。そこを実感しております。そこで皆さん関心のマイナンバー問題とPPPの問題等の課題があります。

今後、さらに議会の活動を的確に広報だよりから夢の持てる紙面づくりに努めて参りたいと思います。(尾形勝雄)



議会広報編集会議

#### 【発行責任者】

議長 菅 俊郎

#### 【広報編集委員会】

委員長 二戸 守

副委員長 大沼 正 視

委員 佐澤 浩 正

委員 橋本 勝 正

委員 尾形 勝 正

委員 宮本 浩 正